

## 令和3年度学校評価 (3学期・評価)

鹿児島市立花尾小学校

- 1 学校の教育課題 ○確かな学力の向上 ○豊かな心の育成 ○体力向上と保健・安全意識の向上  
○特色ある開かれた学校づくりの推進 ○教職員の資質向上

(4:よく実践され効果も出ている 3:実践されている 2:実践されているが効果が出ていない 1:実践が十分でない)

重点目標	評価項目	評価 3学期	成果や課題
確かな学力の向上	1 複式学習過程の定着のために、花尾小ガイド学習の定着に取り組む。	3.33	1-○ 事前に指示や打ち合わせをすることで、発達段階に応じて、自分たちで進められるようになった。打ち合わせなしでも、いつもの決まった形なら自分たちで進められるようになった。
	2 思考過程が分かる構造的な板書(整合するめあてとまとめの提示)	3.00	3-○ 子供たちが考えるような発問になるように工夫することができた。
	3 児童の思考・判断を促す発問に取り組む。	3.00	4-○ 少人数なりに自分たちで考えを出し合い、類似点や相違点を見つけようとする姿が見られた。
	4 児童が自分の考えを相互に説明する活動を位置付ける。	3.33	6-○ ロイロノートを当たり前のように使えるようになってきている。
	5 ドリルタイムや学習チャレンジタイムで習熟と活用を図る。(Web問題・アシストシート、名作文名の暗唱、意見文等を書く活動)	3.33	6-○ ICT機器の活用で意欲的に調べようとする姿や集中して解決しようとする姿が見られた。
	6 授業で児童のICT活用に取り組む、学年に応じた活用をさせる。	3.67	7-○ 2学期までメニュー表を毎月出していたが、3学期は、自分で工夫して取り組めるようになった。
	7 家庭学習の点検を工夫し、調べたり文章を書いたりする宿題を出す。	3.33	
豊かな心の育成	8 生活指等における共通理解事項と花尾のよい子を、児童にきちんと指導し共通実践する。	3.50	9-○ 遅くなりましたが、学校生活アンケートを実施でき、小さなことでも気が付くことができてよかった。
	9 児童の言動に気を配り、いじめ等の諸問題を、全職員で共通理解する。	3.25	9-● 素直で明るく優しい子供たちだが、言葉遣いでテレビの真似をしていたり、さん付けができていなかったりし、残念な時がある。
	10 道徳の授業を充実させ、豊かな心の育成に努める。	3.67	12-○● 寒い時期はあまり草も生えていないので、やはり冬季の作業内容を明確にしておくのではないかと。
	11 人権同和教育の視点に立った授業・学級経営を推進する。	3.67	13-○ 子供たちへの声かけ一つで読書好きになるかそうでないかや、読書への集中力が決まると思う。
	12 環境ISO活動やボランティア活動、青少年赤十字活動を積極的に推進する。	3.75	14-○ 2年生も1年間で一輪車に乗れるようになり、よかった。継続は力なりだと思う。
	13 毎月23日のうちどく(花尾読書の日)に取り組む。	3.67	15-○ 体力調査も2回目を実施し、子どもたちの成果として表れている。
保健安全意識の向上	14 一学校一運動「一輪車名人になろう」に取り組む。(チャレンジかごしま活用)	3.67	16-○ コロナ禍の中だったが、今年は1年を通して欠席や体調不良の児童、また、ケガも少なく、元気に過ごせていたと思う。
	15 仲よし体育や授業で持久力や敏捷性の向上に取り組む。	3.67	18-● 偏食指導を継続してきたが、なかなか成果が出なかったような気がして残念である。
	16 健康タイムや健康教室を工夫し、疾病予防や早期治療に取り組む。	3.50	19-○ 3学期の歯みがきタイムも、子供たちは真剣に取り組み感心する。親子歯磨きもよい。
	17 「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化に取り組む。	3.75	20-○ 毎月の安全点検にご協力ありがとうございました。
	18 給食指導の充実に努める(食物アレルギー・偏食・マナー等)。	3.50	22-○ コロナウイルスでなかなかできていなかった地域の方の人材活用だが、コーディネーターの先生とさらに連携して来年度はできるとよい。
	19 給食後の歯みがき指導に取り組む。	3.50	22-● コロナ禍で地域の人材活用がおこなえなかった。
	20 月1回の安全点検と連動した補修状況を共有し安全指導を徹底する。	4.00	26-○ 研究授業に向けて、集中して研究実践できてよかった。
特色ある開かれた学校づくり	21 地域合同行事や文化財少年団、あいご会活動を通して保護者や地域住民と絆を強める。	-	27-○ 平日は、なるべく残業しないように効率よく仕事ができる。
	22 地域人材を活用して郷土を学ぶ探究学習(総合的な学習の時間・創意の時間)に取り組む。	3.00	
	23 教児同行で清掃活動や花作りを行い、美しい学校づくりを行う。	3.67	
	24 黙々作業100%をめざす。	3.00	
教職員の資質向上	25 教職員の資質及び指導力向上を目指した職員研修に取り組む。	3.00	
	26 服務規律の厳正確保に取り組む。	4.00	
	27 業務改善に取り組み、良い事例を共有する。	3.67	

## 考察及び改善方策

- 全学級で、複式の授業の基盤ができ、ガイド役の児童が学習を進めていけるようになってきている。今後も意見交流の場を増やしながら子供たちが主体的に問題解決を図るための学習指導の研究を進めていきたい。
- (1) 確かな学力の向上のために、継続して「めあて」と「まとめ」の整合性や、思考過程の分かる「板書の工夫」。また、合わせて「ノート指導」の徹底を行っていきたい。
- (2) ドリルタイムや学習チャレンジタイムでは、個に応じて、習熟と活用を図るように努めている。また、プリントや課題等をただ与えるなく、児童の解答を分析し、計画的に課題等を与えるようにしていく。学力向上へつなげていきたい。
- (3)

(4) 業務改善について、「改善」の意識を全職員が持ち、一人一人が自分自身にできる改革を見つけ、それを共有できるようにしていく。

